

資料 ● 火事が起きたら

通報する

- 大声で周囲に知らせる。ひとりで行動しないで、できるだけ多くの人に協力してもらう。
- 安全なところから落ち着いて119番通報する。

119番通報のしかた

- 通報するときは、落ち着いて、火災やけが・病人の状況などをできるだけ詳しく伝えてください。
- 状況に応じて、第一報のあと、もう一度電話をかけ直して詳しく話すと、現場に向かう消防車や救急車に適切な指示を与えることができます。
- 走行中の自動車から携帯電話で通報する場合は、必ず安全な場所に停車してから通報してください。
- 災害発生場所の所在地が分からない場合は、大きな建物、公共の施設、交差点の名称、コンビニエンスストアの名称、または自動販売機に貼ってある住所表示を確認してください。
- 携帯電話からの通報の場合、消防から問い合わせをする場合がありますので電源を切らないでください。

通報手順

①あわてないで119番

「火事です」または「救急です」



②場所を伝える

〇〇市〇〇区〇〇町〇丁目〇番〇号



③状態を伝える

「〇〇が燃えています」や
「〇〇がどうした」



④氏名・電話番号を伝える

「私は〇〇です。電話は
〇〇〇〇-〇〇〇〇です」



ファックス、eメール（電子メール）による通報

市内からの電話による119番通報が困難な場合には、ファックスやeメールによる通報を受け付けています。



記載する必要事項

- 火事か救急か
- 発生場所（住所）
- 現在の状況（何が燃えている、けがや病気の状態など）
- 通報した方のお名前

※救急車を呼ぶ場合はできるだけ患者の年齢、性別を付け加えてください。

※受信後、返信しますので、確認してください。なお、返信が届かない場合は番号を確認後、再度送信してください。

ファックス 119 FAX: 6538-0119

eメール 119 NTTドコモの携帯電話からは→ osaka.shobo@i.mail-119.jp
それ以外は→ osaka.shobo@mail-119.jp

消火する

火災を大きくしないためには、素早く消火することがたいせつです。万一のため消火器や水バケツなどを備えておき、いつでも使えるところに置いておきましょう。

消火器の使い方

- 消火器を火元の近くまで持っていく。
- 安全ピンを引き抜く。
- ホース・ノズルを火元に向ける。（燃えているもの確かめる）
- レバーを強く握る。（噴射）

※サビや傷、へこみなどのある消火器を使用しないでください。

てんぷら油火災の消火

- 消火器で消火する。
 - 鍋の大きさにあったふたを手前から滑らせてふたをして消す。
 - 水に濡らして固く絞ったシートで覆い消す。
 - 消したあとすぐに「ガス栓」を閉める。
- ※絶対に水をかけないでください。

避難する

- 避難するときは、大きな声でまわりに知らせる。
- 煙があるときは、ハンカチなどで口・鼻を覆い、姿勢を低くして避難する。
- 二方向避難を常に考えておく。
- エレベーターは使わない。
- いったん避難したらドアを閉め、絶対に戻らない。